

令和3年度の重点課題

- 新体カテストの総合評価のAB率54.3%、DE率13%である。（(AB-DE)率41.3%）
- 男女とも、「握力」「立ち幅跳び」が県平均値かつ全国平均値より低い。
- 男子は、「ボール投げ」が県平均値かつ全国平均値より低い。
- 女子は、「50m走」が県平均値かつ全国平均値より低い。
- 運動やスポーツをすることがやや嫌い・嫌いと答える児童の割合は男子11.8%、女子6.9%である。

上記の課題を受けて具体的に取組んだ事項

- 児童の運動に対するとらえ方を明らかにし、実態に合った学習過程を計画する。
- 吉和っ子タイムの実施
 - ・週に1回、朝の帯タイムで全校運動を行う。
 - 主に体育委員会の児童が中心となって企画し、全校で運動を楽しむことを目的とする。
- 長期休業中に家庭で、吉和っ子タイムや体育の授業で行った様々な運動に取り組むことができるような課題を設定した。

令和4年度新体カテストの結果(県平均値(令和3年度)・全国平均値(令和2年度)との比較)

男子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点	女子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点
	第5学年	18.54	21.91	34.00	48.82	43.33	9.73	149.46	22.50		56.30	第5学年	15.43	20.35	35.70	44.65	39.24	9.94	138.45

県平均値かつ全国平均値未満

令和4年度新体カテストの結果(県平均値(令和4年度)・全国平均値(令和3年度)との比較)

県の調査結果が公表された後、データ入力シートに最新の県平均値(R4)及び全国平均値(R3)を記入し、比較を行います。

県平均値かつ全国平均値未満

運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか

男子	好き	やや好き	やや嫌い	嫌い	女子	好き	やや好き	やや嫌い	嫌い
	第5学年	69.23	23.08	7.69		0.00	第5学年	66.67	23.81

重点課題

情意面での課題

- 男子
 - ・運動やスポーツをすることがややきらい、きらいと答える児童の割合は7.69% (前年比4.11↓)であったが、運動やスポーツをすることが好きと答える児童の割合は69.23% (前年比18.23↓)であった。
- 女子
 - ・運動やスポーツをすることがややきらい、きらいと答える児童の割合が9.52%である。(前年比2.62%↑)

体力面での課題

- 男子
 - ・「長座体前屈」、「20mシャトルラン」、「50m走」「立ち幅跳び」「ボール投げ」において、県平均値かつ全国平均値より低い。
- 女子
 - ・「握力」、「長座体前屈」「20mシャトルラン」、「50m走」「立ち幅跳び」において、県平均値かつ全国平均値より低い。

○「筋力」「柔軟性」「持久力」に課題が見られる。

重点課題に対応した改善する取組内容及び方法

体育の授業で行う取組内容

- 運動量の確保 「持久力」
 - ・体育の時間に「しっぽとり」「鬼遊び」などを授業の始めに設け、全員が体を動かす時間をつくる。
- 体育館サーキット
 - ・吉和の課題である、「筋力」「柔軟性」の向上に重点をおいた体育館サーキットを行う。(筋力コーナー：ペットボトル運動・ぞうきんしぼり) (柔軟コーナー：ブリッジ・柔軟体操)

体育の授業以外で行う取組内容

- 吉和っ子タイム
 - ・月に2回朝の帯タイムに全校運動を実施する。今年度は、縄跳びを中心に行う。

- ・跳ねることで足の筋力、跳躍力や瞬発力がUP↑ (柔軟性・跳躍力)
- ・縄を回すことで、腕の筋力がUP↑ (筋力)
- ・タイミングよくとび続けることで、リズム感を養うことができる。
- ・たくさんとび続けることができるようになると、持久力が強化される。(持久力)

令和5年度の重点目標値

- 運動やスポーツをする事に対して肯定的な捉え方をする児童を95%以上にする。
- 男女とも、「長座体前屈」「立ち幅跳び」を県平均値かつ全国平均値以上にする。
- 女子は、「握力」を県平均値かつ全国平均値以上にする。